



2012年11月23日(金)～

12月6日(木)の活動

○ 会員懇談会 (富山会場)

12月3日(月) 富山市
平成24年度会員懇談会(富山会場)を開催し、会員57名が出席した。

懇談会では、永原会長の挨拶の後、2つのテーマについて自由懇談が行われた。①「北陸新幹線 富山開業に向けて」では、「富山が有する観光資源をつなぐ、例えば立山黒部も五箇山も訪れていただくことで、立ち寄りではなく宿泊を伴って楽しめる仕掛けづくりが大切」などの意見があった。②「我が国のエネルギー政策」では、「原子力ゼロ」を目指す政府の方針に対し、「安定供給に対する不安やコスト高などから産業の空洞化が進み、雇用の面からもマイナスである」などの意見があった。

続いて京都大学大学院教授 藤井聡氏が「国土強靱化がつくる未来」と題して講演した。その中で、北陸が1つの大きな都市圏をつくることで、太平洋側の地震のバックアップ機能の強化になることから、自信をもってインフラ整備を要望すべきと述べた。また、電力に関して、発送電分離・自由化を進めた欧米では電力不足で価格が上昇し、停電時間も長い。日本では、電力のベストミックスを図り、発送電一貫体制を維持することが大切と指摘した。

(担当：大嶋)

○ 総合対策委員会

12月4日(火) 金沢市

第3回総合対策委員会を開催し、北村委員長はじめ8名の委員が出席し、24年度事業の評価、25年度事業の方向性について審議した。

事務局からの説明に続いて行われた意見交換において、委員からは「インフラ整備を進める中で、東京一極集中や太平洋ベルト集中を是正しなければいけない」、「北陸新幹線敦賀開業を早めることが地域のためになる。3県が力を合わせて地域を活力あるものにしてほしい」、「地域の魅力づくりが必要。自然、安心安全、利便性の積み上げが交流人口の積み上げにもなる」など意見・要望があった。

また、北陸新幹線の金沢-敦賀間の早期開業効果の調査結果や、今後計画している敦賀以西のルートごとの経済効果の調査について意見を交わした。

(担当：伊東)

○ 広域観光推進委員会

11月30日(金) 金沢市

第2回広域観光推進委員会を開催し、小田委員長をはじめ7名が出席し、24年度事業の評価、25年度事業の方向性について審議した。

事務局からの説明に続いて行われた意見交換において、委員からは、「ネットの世界では、大きいものはサイトが数十万単位の人数になっている。フェイスブック北陸物語は、大きく育てなければならぬし、検索しやすくする方法は、更に工夫すべき」、「フェイスブックは、団塊の世代の女性はかなりの人がやっている。その女性を取り込んで、まずは書いてもらうことが必要」などの意見・要望があった。

(担当：吉井)

今後の主な活動予定

□ 1月29日(火)


新春経済懇談会

<会場：金沢ニューグランドホテル>

□ 2月4日(月)


第2回 北陸フォーラム(東京)

<会場：ホテルニューオータニ>

□ 2月27日(水) 

北陸地域懇話会<整備局、運輸局との懇談>

<金沢市内>

□ 3月4日(月) 

中部・近畿経済産業局との懇談会

<福井市>

○北経連トピックNo.101 (H23.6.2発行分) より、当連合会 HP に掲載しております。

バックナンバーのお問い合わせは大嶋まで。

(Tel.076-232-0472)

※ 当連合会では、新規会員を募っております。会員の皆様にはお知り合いの方に広くお声をかけていただき、ご紹介を賜れば幸いです。(Tel.076-232-0472)